

令和8年 第2回 区づくり推進横浜市会議員会議（神奈川区）

日 時 令和8年6月11日（木）

午前11時から（予定）

場 所 本館5階大会議室

次 第

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

（1）令和8年度 神奈川区運営方針について

（2）令和8年度 神奈川区自主企画事業について

5 そ の 他

6 閉 会

令和8年 第2回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



令和8年6月11日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和8年度 神奈川区運営方針	1
2 令和8年度 神奈川区編成予算 総括	5
3 令和8年度 神奈川区自主企画事業 予算について	7
4 令和8年度 神奈川区自主企画事業	10
5 自主企画事業以外で実施する主な事業	36

令和8年度 神奈川区運営方針

令和8年第2回区づくり推進横浜市議員会議
議題（1）令和8年度 神奈川区運営方針

I 基本目標

笑顔でつながる「神奈川区」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～

神奈川区は2027年に区制100周年を迎えます。



令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。
市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら「笑顔でつながる『神奈川区』」に向けて取組を推進することにより、
「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

II 目標達成に向けた施策

1 いきいきと暮らせるまちづくり

子育て中の方、高齢の方、障害のある方、外国につながりのある方など、誰もが自分らしく地域で暮らせるよう、きめ細かに行政サービスにつなげます。



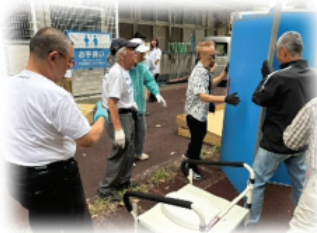
2 魅力あふれるまちづくり

つながり、支えあうことの良さを実感し、地域に愛着を感じるとともに、神奈川区の様々な魅力に触れ、「住みたい・住み続けたい」と感じていただけるまちづくりを進めます。



3 安心・安全なまちづくり

すべての皆様にとって必要不可欠な安心・安全な暮らしを目指して、自助・共助・公助の防災や防犯の取組を進めます。



III 目標達成に向けた組織運営

■ 行政サービスの向上

窓口サービスをはじめとする行政サービスを正確・迅速に実施するために職員の一層のスキルアップに取り組みます。来庁者の利便性向上と業務の効率化のため、デジタル技術を活用します。

■ 「区民目線」で行動

職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様の声に耳を傾け、「区民目線」で事業を進めます。

■ チーム神奈川の推進

職員の意欲・能力を最大限に発揮できるよう、職員同士のコミュニケーションを大切に、施策を推進します。



上記の3作品は「わが町かながわとっておき写真コンテスト」受賞作品

【参考】主な事業・取組

1 いきいきと暮らせるまちづくり

子育て支援

- 親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動支援、担い手同士の交流促進
- 土曜日両親教室で妊婦とパートナーに学ぶ機会を提供



「すくすくかめっ子」で親子が楽しむ様子

健康づくり

- 親子が参加できるウォーキングイベントやよこはまウォーキングポイントを活用したイベントの実施
- 働き・子育て世代向けの健康チェックの実施
- 学齢期のこどもと保護者向けのオーラルフレイルの予防啓発を目的とした講座の実施
- 野菜摂取量測定器を活用した生活習慣改善の啓発



働き・子育て世代向け健康チェックの様子

※オーラルフレイルとは…わずかな「むせ」など、口の機能が低下している状態のことです。
こどもの時からよく噛み、自分の歯を守ることによって予防することができます。

高齢者支援

- 健康測定機器による測定データを活用したフレイル予防体験イベントの開催
- 介護者のための公認心理師によるカウンセリングを実施



民間施設でのフレイル予防体験イベントの様子

かながわ支え愛プラン(第5期神奈川区地域福祉保健計画)

- 第5期かながわ支え愛プランの開始に伴う普及啓発
- 小中学校等での出前教室等の実施

2 魅力あふれるまちづくり

地域づくり

- 「つながりまちづくり学校」に現場体験を取り入れるなど地域活動につながるプログラムを実施
- 自治会町内会におけるデジタルツールの活用に関する連続講座の開催



デジタル活用交流会の様子

GREENなまちづくり(横浜グリーンエクスポを見据えた取組)

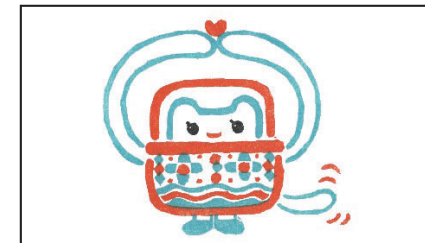
- 区民まつりを活用した脱炭素啓発の実施
- ごみから堆肥をつくる体験学習と公園愛護会との花壇づくりをセットにした小学校での出前授業
- 地域住民と公園愛護会との協働によるイベントを組み合わせた樹林地の保全活動
- 民間のノウハウを活用し、「ミッションクリア型清掃イベント」を実施



小学校と愛護会の連携による花壇づくりの様子

魅力発信

- 横浜グリーンエクスポの機運醸成のため「GREEN」をテーマとした商店街ラリーを開催
- デジタル技術（AR/VR）を活用した神奈川台場のPR
- 神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町かながわとっておき」を活用した写真コンテスト等を実施



神奈川区商店街キャラクター かごにゃん

100周年記念事業

- 区制100周年記念ロゴマーク等を活用した記念事業の周知・情報発信
- 100周年記念デザインマンホールの設置

【参考】主な事業・取組

3 安心・安全なまちづくり

防災・減災

- 共助推進事業補助金の内容を拡充し、自主避難所の確保や安否確認システムアプリの導入を促進
- 発災時に地域防災拠点の開設がスムーズにできるよう、開設時の手順書となる「開設アクションカード」を制作
- 小学生向け避難所生活の模擬体験「防災ディキャンプ」を実施
- 中学校と連携したワークショップ型の防災出前授業を実施



「防災ディキャンプ」の様子

防犯・交通安全

- 防犯キャンペーンや地域の防犯活動の支援
- 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン
- 通学路内の路面標示の補修



通学路 路面標示の補修

ピックアップ

令和8年度事業

▶ 第5期かながわ支え愛プランが開始しました。



基本理念

誰もが住み慣れた地域で、健やかに、安心して暮らせるまちをみんなでつくろう

柱1

「ひとりぼっちにならない」まち

柱2

「みんながチカラを発揮する」まち

柱3

「様々なチカラがつながり合う」まち

▼ 詳細はこちら



かながわ支え愛プラン
キャラクター
「がわちゃん」

▶ 2027年に向けて 横浜グリーンエクスポ開催と区制100周年を契機 として地域とのつながりを深める取組を実施します。



期間	2026(R8) 4月・12月	2027(R9) 1月・12月
区制100周年	機運醸成期間	周年記念事業 メイン期間
横浜グリーンエクスポ	機運醸成期間	開催期間: 3/19~9/26

10月1日
区制100周年



区制100周年
記念事業の取組はこちら ▶



▶ 横浜開港のシンボル「神奈川台場」の魅力を発信！

臨海部の埋め立てにより現代では直接見るのが難くなった横浜開港のシンボル「神奈川台場」の歴史を、イベント等を通じて区民の皆様向けに発信します。
本事業を通じて、区制100周年を区の歴史や魅力を改めて見つめなおす契機の1つとします。



信頼される区役所づくり

運営方針の達成に向けた各所属の目標

総務課 防災・減災の取組を通じて区民の皆様の安心・安全を支えると共に、部署を超えたコミュニケーションの機会を作り「チーム神奈川」を推進します。	区政推進課 区民の皆様の声と地域のつながりを大切にしながら、情報共有と調整を丁寧に行い、多様な主体と連携することで、地域ニーズを捉えたまちづくりを進めます。	地域振興課 地域資源を活かした魅力ある地域づくりを進めます。また、街の美化・防犯・交通安全など安心して暮らせるまちを目指します。	戸籍課 手続きや証明発行について正確・迅速・丁寧に対応し、区民の方から信頼される窓口サービスの提供を目指します。	税務課 分かりやすい説明や親切で丁寧な対応のもと、市税の適正かつ公平な課税と納税を進め、個人情報の取扱いを徹底し、信頼される税務行政を目指します。
区会計室 職員の会計知識向上を図ることで、正確かつ迅速な収入・支出につなげ、区民の皆様や事業者の皆様から信頼される会計事務を目指します。	福祉保健課 地域や関係機関等と協働して第5期地域福祉保健計画を推進します。また、区民の皆様の健康づくりや感染症対策に積極的に取り組みます。	生活衛生課 食生活や生活環境の安心・安全に向けた取組を行うとともに、ペット防災について飼い主や地域防災拠点を支援していきます。	高齢・障害支援課 高齢の方や障害のある方が地域で安心していきいきと過ごせるよう、思いに寄り添った支援を進めます。	こども家庭支援課 未来を担うこども・青少年一人ひとりの成長に寄り添った支援を行います。また妊娠期から切れ目のない支援を行うとともに子育て家庭をきめ細かく支えていきます。
市立保育園（3園） 安心できる環境をつくり園児一人ひとりを大切に保育します。子育て支援連絡会を通じて協力し合い地域の子育て家庭を応援します。	生活支援課 生活にお困りの方に寄り添って、就労支援や家計改善支援、生活保護等の制度の活用により生活の改善・向上を支援します。	保険年金課 個人情報の取扱いに細心の注意を払いつつ、区民の皆様の気持ちに寄り添いながら、年金や保険などのサービスを的確かつ迅速丁寧に提供していきます。	神奈川土木事務所 道路、河川、下水道、公園の適切な維持管理や区民の皆様との協働による美化活動、迅速な災害対応により、安心・安全で快適な生活を支えます。	 神奈川区制100周年記念ロゴマーク

2 令和8年度 神奈川区編成予算 総括

(1) 区分別総括表

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
ア 自主企画事業費	106,714	106,415	299
イ 統合事務事業費	50,728	51,342	△ 614
(ア) 統合事務費	29,212	29,488	△ 276
(イ) 統合事業費	21,516	21,854	△ 338
ウ 区庁舎・区民利用施設管理費	694,199	673,872	20,327
合 計	851,641	831,629	20,012

(2) 内 訳

ア 自主企画事業費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引	主な増減理由
3つの施策				
I いきいきと暮らせるまちづくり	20,338	22,622	△ 2,284	認知症月間での地域ケアプラザの取組を集中的に実施することによる、区の経費見直しに伴う高齢者支援事業の減等
II 魅力あふれるまちづくり	45,668	38,723	6,945	区制100周年記念事業プロモーション実施拡大に伴う神奈川区制100周年記念事業の増等
III 安心・安全なまちづくり	30,198	31,735	△ 1,537	防災ガイドのデータでの配付等への切替による印刷経費の削減に伴う地域防災力向上事業の減等
IV 信頼される区役所づくり	10,510	13,335	△ 2,825	こども家庭支援課等の窓口発券システムの切替完了に伴うかながわデジタル推進事業の減
合 計	106,714	106,415	299	(28事業)

イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
統合事務費（生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費）	29,212	29,488	△ 276
統合事業費（8事業）	21,516	21,854	△ 338
広報よこはま発行事業	10,830	11,062	△ 232
市民相談事業	1,405	1,419	△ 14
クリーンタウン横浜事業	3,199	3,231	△ 32
緊急時情報システム運用事業	891	899	△ 8
スポーツ推進委員支援事業	2,192	2,214	△ 22
青少年指導員事業費	2,206	2,228	△ 22
学校・家庭・地域連携事業	616	623	△ 7
健康づくり月間	177	178	△ 1
合 計	50,728	51,342	△ 614

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
1 区庁舎	97,126	98,793	△ 1,667
2 土木事務所	11,443	10,283	1,160
3 公会堂	40,379	38,768	1,611
4 地区センター、集会所、スポーツ会館	227,511	217,043	10,468
5 ログハウス	9,658	9,216	442
6 区民文化センター	127,871	124,708	3,163
7 老人福祉センター	29,230	28,074	1,156
8 コミュニティハウス	57,723	56,667	1,056
9 スポーツセンター	50,452	52,436	△ 1,984
10 広場・遊び場	1,355	1,368	△ 13
11 国際交流ラウンジ	28,408	28,408	0
12 区庁舎・区民利用施設修繕費	13,043	8,108	4,935
合 計	694,199	673,872	20,327

3 令和8年度 神奈川区自主企画事業 予算について

笑顔でつながる「神奈川区」

～地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます～

子育て世代の流入や高齢化の進展、脱炭素化に向けた行動変容など、社会情勢や環境の変化に的確に対応し、地域や関係団体、企業、大学等多様な主体との「つながり」を力に、協働によるまちづくりを進めます。令和9年の横浜グリーンエキスポや区制100周年を契機に、将来も見据え、誰もが「住みたい・住み続けたい」まちづくりを進めます。

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：106,714千円

目標達成に向けた3つの施策

I いきいきと暮らせるまちづくり

20,338千円

子育て中の方、高齢者の方、障害のある方、外国につながる方、すべての皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、きめ細かに行政サービスにつなげます。第5期地域福祉保健計画の推進、健康づくりを通じた健康寿命の延伸に取り組むとともに、親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動支援を行います。

《重点事業》

かながわ子育てかめっ子支援事業、かながわ健康づくり応援事業、
地域福祉保健活動推進・支援事業

II 魅力あふれるまちづくり

45,668千円

つながり、支えあうことの良さを実感し、地域に愛着を感じるとともに、神奈川区の様々な魅力に触れ、「住みたい・住み続けたい」まちづくりを進めます。

脱炭素社会の形成に向けて、若年層をはじめ区民の環境意識を醸成し、環境負荷の軽減やまちの美化、花やみどりの創出などライフスタイルの行動変容を促す取組を重点的に実施します。区制100周年に向けた取組も進めます。

《重点事業》

かながわ脱炭素化推進事業、花と緑あふれるまちづくり事業、
チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり、神奈川区制100周年記念事業

III 安心・安全なまちづくり

30,198千円

安心・安全な暮らしの実現に向け、自助・共助・公助の防災や防犯の取組を進めます。地域防災力向上に向けて、共助の取組の中心となる「まちの防災組織」の活性化や地域防災拠点の訓練等の充実、あわせて、小中学校と連携し次代の担い手の育成に重点的に取り組みます。

《重点事業》

地域防災力向上事業

行政運営

IV 信頼される区役所づくり

10,510千円

行政サービスを正確・迅速に実現するため、区役所職員のスキルアップを図るとともに、来庁者が快適に区役所を利用できるよう環境整備を進めます。

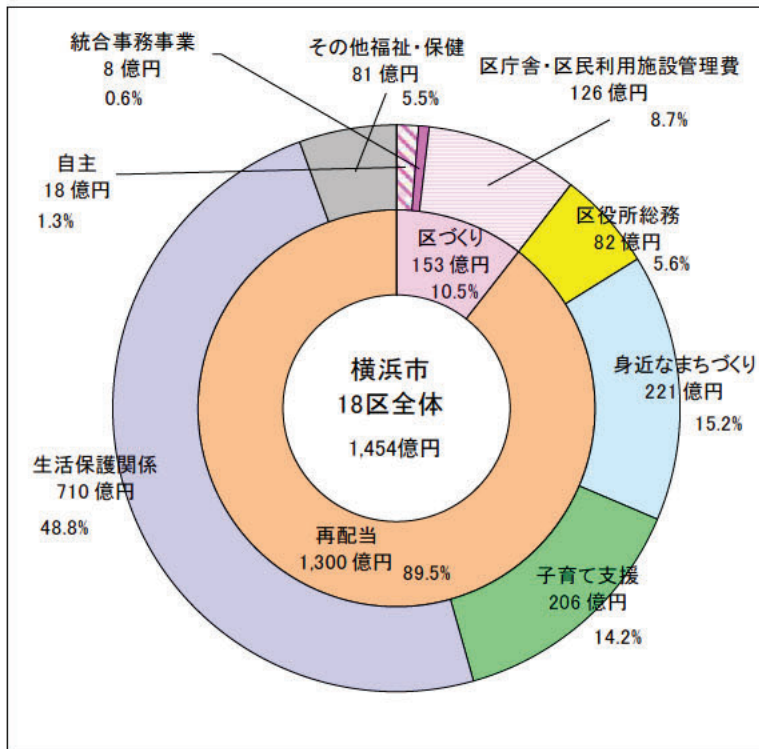
かながわデジタル推進事業、チーム神奈川おもてなし向上事業

神奈川 区に係る予算のすがた（令和 8 年度一般会計予算）

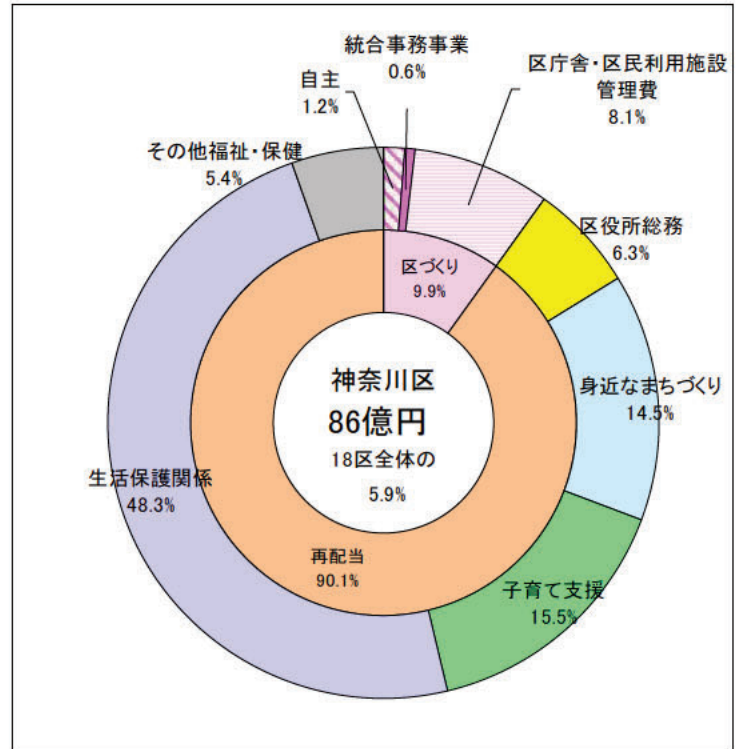
一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は 2 兆 993 億円ですが、このうち 18 区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は 1,454 億円です。

そのうち、神奈川区が主に税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。

18区全体の執行予算額



神奈川区の執行予算額



注: 各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

1 横浜市の一般会計及び 18 区の予算規模

横浜市の一般会計規模

2 兆 9 9 3 億円

うち、18 区が執行している予算の規模

1, 4 5 4 億円

2 神奈川区の予算規模

神奈川区が執行している予算の規模

約 8 5 億 8, 6 0 0 万円

区民一人あたりに換算した場合

約 3 万 4 千円

3 神奈川区予算の内訳

個性ある区づくり推進費

約 8 億 5, 2 0 0 万円

再配当予算

約 7 7 億 3, 4 0 0 万円

再配当予算の主な内訳

①生活保護等に係る予算

約 4 1 億 5, 1 0 0 万円

②子育て支援に係る予算

約 1 3 億 3, 3 0 0 万円

③身近なまちづくりに係る予算

約 1 2 億 4, 8 0 0 万円

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	852	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	107	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	51	広報よこはま各版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	694	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	7,734	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	540	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	362	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	25	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	152	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,248	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,405 百万円
道路修繕費等	913	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	87	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(158)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	248	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	1,333	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	62	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	1,078	放課後キッズクラブ運営のための補助金等
地域子育て支援拠点等	194	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	4,151	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	4,125	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	26	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	463	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	162	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	29	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	272	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	8,586	(下 水 道 事 業 を 含 む) 8,744 百万円

各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。)

4 令和8年度 神奈川区自主企画事業

No.	事業名	8年度	7年度	増△減	所管課	重点	頁
I いきいきと暮らせるまちづくり							
1	かながわ子育てかめっ子支援事業	3,654	3,856	△ 202	こども家庭支援課	★	11
2	かながわ健康づくり応援事業	2,291	2,194	97	福祉保健課	★	12
3	地域福祉保健活動推進・支援事業	4,053	4,572	△ 519		★	13
4	高齢者支援事業	1,770	3,019	△ 1,249	高齢・障害支援課		14
5	障害者支援事業	1,338	1,543	△ 205			15
6	かながわ安心子育て支援事業	1,998	2,351	△ 353	こども家庭支援課		16
7	市立保育所地域交流事業	1,693	1,693	0			17
8	放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業	382	382	0			18
9	民生委員・児童委員活動支援事業	1,145	998	147	福祉保健課		19
10	ふれあい活動支援事業	2,014	2,014	0			19
	小計	20,338	22,622	△ 2,284			
II 魅力あふれるまちづくり							
11	かながわ脱炭素化推進事業	2,318	1,844	474	区政推進課	★	20
12	花と緑あふれるまちづくり事業	5,607	4,977	630	土木事務所	★	21
13	チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり	3,720	2,820	900	地域振興課	★	22
14	神奈川区制100周年記念事業	5,120	1,200	3,920	区政推進課	★	23
15	地域力アップ推進事業	2,458	2,600	△ 142	区政推進課、地域振興課		24
16	情報・魅力発信事業	4,636	4,204	432	区政推進課		25
17	まちづくり推進事業	3,772	3,666	106			25
18	わが町かながわ商店街魅力発信事業	1,930	1,930	0	地域振興課		26
19	神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業	2,220	1,920	300			26
20	神奈川区民まつり事業	4,000	4,000	0			27
21	区民活動・生涯学習支援事業	6,587	6,188	399			28
22	地域活動支援事業	3,091	3,160	△ 69			29
23	動物適正飼育推進事業	209	214	△ 5	生活衛生課		29
	小計	45,668	38,723	6,945			
III 安心・安全なまちづくり							
24	地域防災力向上事業	21,824	23,200	△ 1,376	総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課	★	30
25	神奈川区防犯対策事業	3,540	3,801	△ 261	地域振興課		33
26	交通安全対策事業	4,834	4,734	100	地域振興課、土木事務所		34
	小計	30,198	31,735	△ 1,537			
IV 信頼される区役所づくり							
27	かながわデジタル推進事業	3,213	4,344	△ 1,131	総務課		35
28	チーム神奈川おもてなし向上事業	7,297	8,991	△ 1,694			35
	小計	10,510	13,335	△ 2,825			
	合計	106,714	106,415	299			

I いきいきと暮らせるまちづくり 20,338千円(7年度 22,622千円)

1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,654千円(7年度 3,856千円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

(1) すくすくかめっ子事業 831千円(921千円)

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流を行います。

ア 研修会(年1回)

イ 全体交流会(年1回・6月8日)及び
方面別交流会(4方面で各1回ずつ開催予定)

ウ 訪問運営支援、情報発信強化(SNSを活用)



【すくすくかめっ子】

(2) 土曜日両親教室 717千円(635千円) 【拡充】

妊婦とパートナーが子育てや夫婦のコミュニケーション等について学ぶ機会を提供します。父親の育児参加について啓発します。(月1回・定員32組、参加定員を年120組増)



【土曜日両親教室】

(3) 赤ちゃんふれあい学級 141千円(150千円)

区内中学校を対象に、思春期保健の出張授業と、地域子育て支援拠点かな一ちえの乳幼児ふれあい体験事業を行います。(2校予定)

(4) 養育ネットワーク事業 1,245千円(1,434千円)

0歳児とその養育者が集う場を設け、養育者のつながりをつくり、孤立化を予防します。また、育児の知識や情報の提供をし、育児不安の軽減を図ります。(12会場で各10回)

(5) 子育て情報提供事業 670千円(666千円)

ア 親子でおでかけマップ作成・配布(5,000部)

イ 誤飲予防啓発うちわの作成・配布(1,800枚)



【誤飲予防啓発うちわ】

(6) 乳幼児健康診査事業等における保育事業 50千円(50千円)

乳幼児健診事業における一時保育等に対し、傷害保険に加入します。

2 かながわ健康づくり応援事業 2,291千円（7年度 2,194千円）☆重点事業

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸に向け、誰もが身近な場所で健康づくりに取り組めるきっかけづくりを行います。生涯にわたる健康づくりにおいては、継続的な取組が重要となります。地域関係団体等と連携しながら、年代ごとの健康課題に合わせた支援を切れ目なく展開し、特に学齢期及び働き・子育て世代の健康づくりに重点的に取り組みます。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業 289千円（561千円）

- ア 親子が参加できるウォーキングイベント等の実施（年1回）
- イ よこはまウォーキングポイントを活用したイベントの開催（年2回：プレゼントキャンペーン、商店街ラリー）
- ウ 保健活動推進員・ヘルスメイト向けウォーキング活動支援講座（年1回）



【令和7年度プレゼントキャンペーン配布グッズ（サコッシュ）】

(2) かながわ健康アップ事業 1,349千円（941千円）

- ア 働き・子育て世代向け健康チェック（年10回）【拡充】
 - 4か月児健康診査の実施日と同日開催及び地域子育て支援拠点「かなーちえ」で出張開催
- イ 小学生とその保護者を対象とした、虫歯、歯周病予防の講話や噛む力のチェック等による、将来的なオーラルフレイル予防を啓発する講座（年4回）【新規】
- ウ 野菜摂取量測定器を活用した生活習慣改善の啓発（通年）【新規】
- エ 両親教室での健康講話（年36回）
- オ 地域での歯科出前講座の開催（年4回）



【働き・子育て世代向け健康チェック】

(3) かなちゃん食育応援事業 653千円（692千円）

- ア 保育所、小中学校等との連携による食育推進
 - (ア) 栄養士、養護教諭等による食育連絡会（年2回）
 - (イ) 食育展の開催（年1回）
- イ 食育関連講座
 - (ア) 3歳児健康診査での食育ミニ講座（年24回）
 - (イ) 学校等との協働による出前食育講座（年2回）
 - (ウ) ヘルスメイト等との協働による食育の普及（年3回）



【3歳児健康診査での食育ミニ講座】

3 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,053千円（7年度4,572千円） ☆重点事業

福祉保健課

令和8年度は、第5期かながわ支え愛プランのスタートの年として、計画の周知を重点的に行います。今期の3つの重点ポイント、「子どもや子育て世代にやさしい」「多様性に対する理解、多様な活動機会の創出」「デジタル技術の活用」を中心に取組を進め、より多くの区民の方に関心を持ってもらい、地域活動への参画意識の醸成や持続可能な地域活動を支援します。

(1) 第5期かながわ支え愛プランの普及啓発 3,620千円(4,094千円)

- ア ホームページや地域情報誌などを活用した計画や地域活動の広報
- イ 世代や活用場面に応じた普及啓発グッズの作成
- ウ 区内関係機関の代表者などを委員とする

「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」を開催し、普及啓発の展開方法、推進に向けた課題を検討（年2回）

【スケジュールイメージ】

計画サイクル	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(1)普及啓発	推進期				
(2)活動や取組の推進					
(3)振り返り					
(4)次期プランの検討				検討・策定	



【かながわ支え愛プラン（第5期 神奈川区地域福祉保健計画）】



【かながわ支え愛プラン HPのQRコード】

(2) 地域の福祉保健活動の推進・意識醸成支援 433千円(478千円)

- ア 区・区社協・地域ケアプラザによるチームでの地区支援
- イ 地区別計画推進会議の開催支援
各地区の取組の達成度合いや課題を共有し、今後の地区活動の進め方について検討（地区ごとに開催：年2～3回程度）
- ウ 小中学校等での出前教室等の実施（年5校程度）
地域活動を伝え、地域と子どもたちの活動が繋がることを支援
- エ 地域活動の推進を目的とする研修の実施
区役所、区社協、地域ケアプラザ職員向け研修（年3回程度）
地区別計画推進会議への講師派遣（随時）
- オ 社会福祉大会の開催（2月）
全体発表会「みんながつながるまちのつどい」開催 地域活動を事例で紹介

神奈川

小中学校での出前教室を通じた地域福祉保健活動支援

地域福祉保健活動の重要性を伝え、こどもたちの声を計画に取り入れるとともに、地域活動への参画を進めるため、小中学校での出前教室を行っています。ポイ捨ての多いエリアにポスターを掲示する美化活動に取り組んだクラスや、地域ケアプラザ職員から高齢者支援を学び、モルックなどの健康支援活動に取り組んだクラス等、出前教室をきっかけに地域活動の活性化につながっています。



【「横浜市中期計画2026 - 2029(原案)」より抜粋】

4 高齢者支援事業 1,770千円（7年度 3,019千円）

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、健康維持に取り組む介護予防を進めます。また、認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていけるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。

高齢者にとっても、あらゆる世代の方々にとっても住み続けたいまちとして、見守りのネットワークを各地域で強化し、地域包括ケアシステムを推進します。

(1) 介護予防普及啓発事業 795千円（972千円）

高齢化の進行と要介護認定者数のさらなる増加が予測される中、地域包括支援センターや元気づくりステーション等につながっていない方をはじめ、より多くの区民のみなさんが介護予防への関心を高めていけるよう取り組みます。

ア 民間企業との連携によるフレイル予防体験イベントを開催（年3回）

「フレイル」…「健康」と「要介護状態」の“中間の状態”で、早く気付いて予防することで、状態の維持・改善が期待できる

イ 介護予防普及啓発講演会を開催（10月6日、神奈川公会堂）

ウ 「かめ亀手ぬぐいサイズ」の普及・手ぬぐいの活用促進（600枚）



【手ぬぐいを使った神奈川区オリジナルの手ぬぐい体操「かめ亀手ぬぐいサイズ」】

(2) 認知症高齢者支援事業 790千円（1,710千円）

認知症高齢者の介護者を支援するとともに、認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めます。

ア 介護者のためのこころの相談室（年20回 2枠/回）【拡充】

イ チームオレンジの情報発信

認知症月間において理解促進や本人支援の取組を集中的に発信（9月・広報よこはま神奈川区版、SNS等による啓発）

ウ 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及・登録勧奨（随時）



【認知症カフェ「いろばた茶屋デニーズ片倉町店」】

(3) 地域包括ケア推進事業 185千円（337千円）

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、引き続き、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けて取り組みます。

「地域包括ケアシステム」…高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、住まいを中心に、介護、医療、生活支援・介護予防が一体的に提供される日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービスの提供体制のこと

ア 見守り体制強化に向けた地域ケア会議連絡会（年2回予定）



【「地域ケア会議連絡会」の様子】

5 障害者支援事業 1,338千円（7年度 1,543千円）

高齢・障害支援課

自立支援協議会や神奈川区障害者地域作業所連絡会等と連携しながら、障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、障害児者の理解を深める普及啓発や自主製品販売の促進に取り組みます。

(1) 障害者支援事業 1,338千円（1,543千円）

ア 障害者地域作業所等の活動支援

(ア) 活動場所でアレンジした生花の区役所窓口への
配達委託（通年 48週）

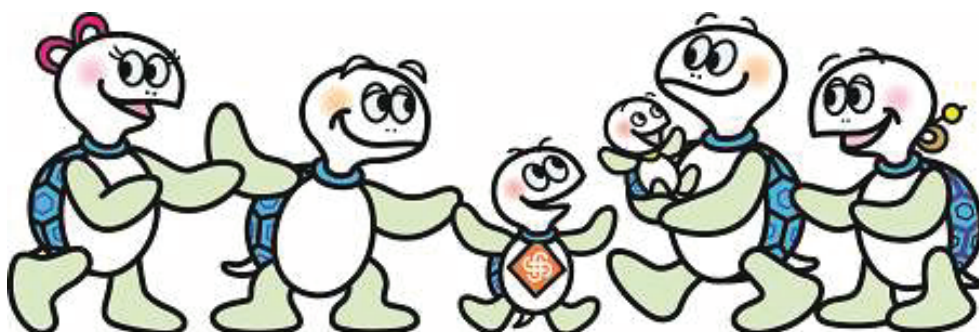
(イ) 障害福祉サービス事業所等の自主製品販売支援（随時）



【市営バス車内デジタルサイネージ】

イ 市営バス車内デジタルサイネージを活用した障害者週間等での啓発（12月）

ウ 精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援のための支援技術向上
研修（年1回）



6 かながわ安心子育て支援事業 1,998千円（7年度 2,351千円）

こども家庭支援課

育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援の強化や、個別の訪問・面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげます。また、職員一人ひとりのソーシャルワークを向上させ、複雑化していく事例への対応力を強化します。

(1) 児童虐待防止対策事業 320千円（893千円）

虐待リスクのある対象者への支援として、第1子への新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降や乳幼児健康診査未受診者に対して、電話や家庭訪問などのきめ細やかな支援を実施します。（月3回）

(2) ファミリーサポート事業 338千円（323千円）

養育に不安を抱える方に対し、心理士による個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防します。（月1回）

(3) ひとり親家庭相談支援事業 700千円（700千円）

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施します。（月6回）

(4) 虐待・DV対応に関わる対応力強化 640千円（435千円）

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施します。

ア 虐待・DV事例のスーパーバイズ（年3回）

イ DV・虐待事例の法律相談（年6回）



7 市立保育所地域交流事業 1,693千円（7年度 1,693千円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育所も含めた区内の保育所の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

(1) 食育推進事業 424千円（424千円）

入所児童の保護者を対象に給食試食（200食程度）、
地域の親子を対象にランチ交流（100食程度）を実施します。

(2) 地域交流事業 470千円（470千円）

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施します。



【地域の親子を対象にしたランチ交流】

(3) 保育施設等情報パンフレット作成 546千円（546千円）

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布します。（10,000部）

(4) 保育園連携事業 73千円（73千円）

民間保育所も含めた区内の保育所の連携を強化するため合同園長会等を行い、保育の質の向上を図ります。（年4回）

(5) 防災意識向上推進事業 180千円（180千円）

新設園等に「てくてくまっち®」を配布するとともに、市立保育所が開催するまち歩きへの参加を民間園職員へ呼びかけ、職員や未就学児等の防災意識強化を図ります。

「てくてくまっち®」…神奈川区と横浜市立大学等が協働で開発した、乳幼児期の子どもと施設の職員が日常の活動の延長線上で防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる教材

8 放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業 382千円（7年度 382千円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの現場職員等を対象に、各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施します。

(1) 放課後関連運営主体・職員等対象 382千円（382千円）

ア 集合研修

研修名	対象者	内容	実施時期
養育支援	現場職員	児童虐待等への対応	6月
救急救命	現場職員	救命処置の対応	10月
安全管理	現場職員、運営主体	災害時の対応・施設の安全管理	11月
障害児理解	現場職員	障害児等との関わり方	12月

イ 出前研修

研修名	対象者	内容	実施時期
安全管理、障害児理解、コミュニケーション	現場職員、運営主体	災害時の対応・施設の安全管理、障害児等との関わり方、職員間の円滑なコミュニケーションの図り方	9月～12月

《放課後児童健全育成事業クラブ数（令和8年5月末現在）》

放課後キッズクラブ18か所、放課後児童クラブ17か所



9 民生委員・児童委員活動支援事業 1,145千円（7年度 998千円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

(1) 民生委員・児童委員訪問活動支援 1,055千円（998千円）

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を配布します。

(2) 民生委員・児童委員担当区域図更新事業 90千円【新規】

民生委員・児童委員が訪問活動で使用する担当区域図について、新たに電子地図データを活用し、更新のうえ配付します。

10 ふれあい活動支援事業 2,014千円（7年度 2,014千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、神奈川区社会福祉協議会と連携し、各地区社会福祉協議会が実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を支援します。

(1) 研修の実施

ふれあい活動員を対象とする研修（11月頃）

(2) ふれあい活動支援

ア ふれあい活動支援補助金の交付（1地区最大10万円）

イ 活動周知パンフレットの増刷



【ふれあい活動員を対象とした研修】

Ⅱ 魅力あふれるまちづくり 45,668千円（7年度 38,723千円）

11 かながわ脱炭素化推進事業 2,318千円（7年度 1,844千円）☆重点事業

区政推進課

「Zero Carbon Yokohamaの実現」に向けて、区民の皆様に環境行動の重要性を啓発するとともに、脱炭素ライフスタイルへの行動変容を促す取組を推進していきます。広く区民の皆様に向けた取組を進めることに加え、次代を担う子どもたちをはじめ若年層へ向けた取組を重点的に実施します。

(1) 脱炭素ライフスタイル啓発事業 2,142千円（1,616千円）

ア 子ども向け脱炭素啓発ワークショップイベントの実施

（年2回、秋以降）

神奈川大学との連携による啓発イベント参加枠の拡大

イ 区民まつりを活用した脱炭素啓発の実施【拡充】

環境関連のブースを集めたエリアの設置

ウ ECOパートナー協定に基づく横浜FCの主催試合での啓発ブース出展



【区民まつりでの脱炭素啓発】

●関連事業

・花と緑あふれるまちづくり事業 【P.21参照】

公園愛護会と小学校が連携し、コンポストによる堆肥づくり、公園の花壇づくりを通じて、環境循環や緑の大切さを子どもたちに伝えます。

・チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 【P.22参照】

「わが町かながわマナー違反一掃作戦」における大学等との連携推進や、小・中・高生等向けのゲーム性を取り入れた体験型イベントなどを実施し、若年層の環境意識を高めます。

(2) 地産地消推進事業 176千円（228千円）

ア 区内産野菜等の出張販売の実施（年3回：①5月27日、②11月20日、③未定）

イ 直売所の紹介冊子等の広報媒体を活用した周知



子育てしたいまちづくりや横浜グリーンエキスポの開催に向け、道路・河川・公園・緑地等を管理するボランティア団体と協働し、区民が公園等で花や緑に触れる機会を増やすとともに、ボランティア団体の新たな担い手の確保、活動の活性化につなげます。

(1) 花苗・球根の配布 4,222千円（3,314千円）

区民が公園などの公共施設で花や緑に触れる機会を増やすため、ボランティア団体に花苗・球根を配布します。

ア 公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーターへの花苗・球根の配布【拡充】

（配布時期：5月21日・22日、10月）

配布予定数：花苗10,000株（昨年6,860株）、
球根32,000球（昨年30,000球）



【公園愛護会による花苗の植栽】

(2) 公園及び愛護会活動PR 1,229千円（1,509千円）

公園の魅力や愛護会活動のPR、子どもと愛護会との協働による花壇づくり等を通じて、区民が公園を訪れ、花や緑に親しむ機会を増やすとともに、愛護会活動の新たな担い手確保につなげます。

ア 公園の魅力的なスポットや公園愛護会活動の写真撮影（4月～6月）及び区ホームページ内の公園マップへの掲載（6月以降）

イ ごみから堆肥をつくる体験学習と愛護会との花壇づくりをセットにした小学校での出前授業（浦島小学校、神奈川小学校）

ウ 地域住民と愛護会との協働による、イベントを組み合わせた樹林地の保全活動（菅田いでど公園、松見みはらし公園）



【小学生と公園愛護会の協働による花壇づくり（菅田みどりの丘公園）】

(3) ボランティア団体の交流の促進 156千円（154千円）

公園愛護会の育成や活性化のため、花壇づくり等の講習や活動の情報交換、活動表彰等を行う交流会を実施（1月開催予定）

13 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 3,720千円（7年度 2,820千円）

☆重点事業

地域振興課

SDGsの達成と脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを推進します。ごみ・資源の分別徹底やプラスチック対策、食品ロス削減などの3Rを進めるとともに、地域・企業・学校などと協働し、清潔できれいなまちづくりを進めていきます。

(1) ヨコハマ3R啓発事業 375千円（425千円）

ごみ・資源の分別徹底、プラスチック対策、食品ロス削減など3Rの取組を推進します。

ア 地域まつり等での啓発（年6回）

イ 保育所や小学校での出前授業（年10回）

ウ 広報よこはま神奈川区版・ホームページ等を活用した啓発（年6回）

エ 功労者の表彰（6月）、フードドライブの推進（通年）、リユース文庫コーナーの管理運営（通年）

(2) 地域美化活動支援事業 3,330千円（2,380千円）

街の美化意識を高めるため、若年層への取組をはじめ地域を中心に企業・学校・団体など多様な主体と協働しながら活動を推進します。

ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援

清掃用具貸出（通年）、地域清掃への参加（年80回）

イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施（9月）

（ア） 地域、学校、事業者と協働で実施

（イ） 会場：東神奈川、新子安、

神奈川大学横浜キャンパス、羽沢横浜国大駅広場

（ウ） 若い世代の意識醸成（大学生による会場運営、清掃参加）

ウ 民間のノウハウを活用し、「ミッションクリア型清掃イベント」の実施【新規】
小・中・高生等向けにゲーム性を取り入れた体験型イベント（6月27日）

エ 新子安駅周辺におけるポイ捨て防止・環境美化対策

「新子安駅周辺美化推進GROUP」による清掃活動や啓発を実施（年3回）

オ 喫煙禁止地区（東神奈川駅周辺）における地域、企業と連携した啓発（年6回）

カ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
片倉町駅（年4回）、大口駅（年6回）

(3) 不法投棄防止対策事業 15千円（15千円）

ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）

イ 地域及び資源循環局神奈川事務所と連携した不法投棄への対応（通年）



【わが町かながわマナー違反一掃作戦】



【「新子安駅周辺美化推進GROUP」による清掃活動】

14 神奈川区制100周年記念事業 5,120千円（7年度 1,200千円）☆重点事業

区政推進課

これまでの100年を振り返りながら、次の100年の区政の推進に向け、地域や区内企業・団体とともに区制の節目を祝います。また、神奈川区とともに区制100周年を迎える4区や局との連携、横浜グリーンエキスポと連動した取組を進めます。

令和9年に神奈川区とともに区制100周年を迎える4区：鶴見区、中区、保土ケ谷区、磯子区

(1) 神奈川区制100周年記念事業 5,120千円（1,200千円）【拡充】

- ア 区の100年の歴史を振り返り、広報等による情報発信
- イ 「神奈川区制100周年記念事業実行委員会」によるPR活動への支援
- ウ 100周年記念デザインマンホール設置
- エ 横浜グリーンエキスポの開幕にも合わせ、100周年記念として植樹を実施

●区制100周年に関連する取組

・区の花チューリップいっぱい事業

【P. 25参照】

100周年を沢山のチューリップで彩るため、球根の配布対象を区内の小中学校に加え、区内公立中学校に拡大します。あわせて区民向けには従来と異なる品種の球根を配布予定です。

・デジタル技術（VR/AR）を活用した神奈川台場のPR

【P. 25参照】

歴史継承イベント等を実施し、開国の舞台となった神奈川区、台場の歴史を区民向けに発信します。

・神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

【P. 26参照】

区民参加による「わが町 かながわ とっておき」をリニューアルします。



15 地域力アップ推進事業 2,458千円（7年度 2,600千円）

区政推進課

地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため、人材を育て、地域活動を支援します。

(1) つながりまちづくり学校運営事業 1,498千円（1,528千円）

地域活動について学ぶ講座の開催や講座卒業後の支援を通じて、地域活動を担う人材の育成に取り組みます。

ア 現場体験を含むプログラムの実施（10月～）

（ア）基礎講座及び地域活動団体への現場体験

（イ）つながりまちづくり学校交流会の開催

イ かながわ地域支援補助金事業（5団体）

講座卒業生への補助金の交付（つながりまちづくり学校（旧地域づくり大学校）卒業生支援コース）

参考 講座卒業生の人数（旧地域づくり大学校も含む）：261人



【つながりまちづくり学校の様子】

(2) 自治会町内会ICT支援事業 960千円（750千円）

自治会町内会等による活動情報の発信を支援することで、住民が地域活動に触れる機会を広げ、地域の新たな担い手の発掘につなげます。

ア デジタルツール活用講座の開催（8月～・講座回数を3回へ拡大）【拡充】

自治会町内会等を対象としたデジタルツールによる地域課題の解決の可能性や効果的な情報発信について学ぶ講座

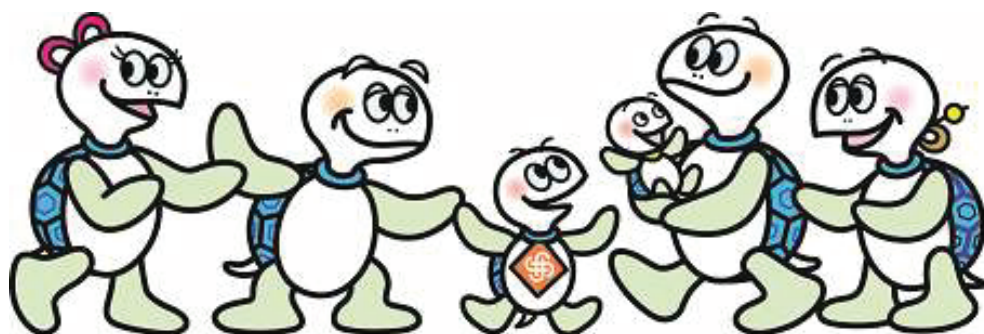
イ ICTアドバイザー派遣の実施（10月～）

（ア）自治会町内会を対象としたアドバイザー派遣

（イ）デジタルツールの導入・活用を検討する団体に対する個別支援



【自治会町内会ICT支援事業での勉強会】



16 情報・魅力発信事業 4,636千円（7年度 4,204千円）

区政推進課

区の実施や区政情報を、各種媒体を使って効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、神奈川区の魅力を創出・発信します。

(1) 情報発信事業 1,703千円（771千円）

- ア ホームページ、SNS、屋外看板や店内モニター等、媒体の特性を活かした情報発信
- イ 区民生活マップの更新（3月）※隔年で更新

(2) 区のマスコットキャラクター活用事業 298千円（1,298千円）

- ア 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
- イ 区の魅力PR用物品の制作



【軽量で通気性の良いバルーンタイプの着ぐるみ(令和7年導入)】

(3) 区の花チューリップいっぱい事業 1,545千円（1,045千円）

区の花であるチューリップを、写生画展や球根の配布を通じて普及啓発します。

今年度配布する球根は、区制100周年を迎える令和9年春に開花予定であるため、区制100周年記念事業の一環として従来とは異なる品種を採用し、配布数も拡大して実施します。

- ア 区の花「チューリップ」写生画展
区内小学生対象、受賞作品を区内公共施設等で展示（8月）
- イ 区内公立中学校及び私立小学校にチューリップの球根を配布予定（10月）【拡充】
なお、区内公立小学校には、みどり環境局予算で実施
- ウ 区民向けに球根を配布・育成してもらい、区の花チューリップの普及啓発を実施（10～11月予定）【拡充】

(4) 歴史活用事業 1,090千円（1,090千円）

- ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施（11月）
- イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報（通年）
- ウ 歴史の道ガイドパネル等の補修（通年）
- エ デジタル技術（VR/AR）を活用したイベント及び学校教材による神奈川台場のPR

17 まちづくり推進事業 3,772千円（7年度 3,666千円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現します。

(1) 企画調整・まちづくり事業 1,000千円（1,000千円）

「住みたい」「住み続けたい」まちづくりの施策に活かしていくことを目的に、これまでの調査データの分析結果をふまえた区の課題を検討します。

(2) 歩行者ネットワーク強化事業 2,772千円（2,666千円）

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。

18 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,930千円(7年度 1,930千円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

(1) 商店街ラリー事業 1,930千円(1,930千円)

横浜グリーンエキスポ開催にちなんで、「グリーン」にまつわる商品を扱う店舗を対象として、スタンプラリー(神奈川区商店街グリーンラリー)を開催し、商店街の魅力発信を行います。(11月～1月)

あわせて、神奈川区商店街キャラクターを使った「かごにゃんを探せ!」も同時に実施します。



【冊子・ポスター(参考:令和7年度神奈川区商店街花ラリー)】



【神奈川区商店街キャラクターかごにゃん】

19 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

2,220千円(7年度 1,920千円)

地域振興課

区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町 かながわ とっておき」を活用した事業を実施します。

(1) わが町かながわとっておき実行委員会補助 1,800千円(1,500千円)

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々と組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援します。

ア 区民参加による「わが町 かながわ とっておき」のリニューアル

イ 神奈川区への愛着が深まるテーマによるコンテスト等を実施

ウ 専用ホームページによる魅力発信

(2) 「わが町かながわとっておき」写真コンテスト 420千円(420千円)

「神奈川区らしい」「神奈川区ならではの」魅力をPRする写真コンテストを実施します。また、横浜グリーンエキスポ開催に向けて花・緑部門も継続して募集。さらに、コンテスト入賞作品を区内各所で巡回展示します。(8月～3月)

20 神奈川区民まつり事業 4,000千円（7年度 4,000千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援します。また、区民まつりの場を活用して、脱炭素、横浜グリーンエキスポの機運醸成・来場意識の向上等にも取り組みます。

(1) 神奈川区民まつり 4,000千円（4,000千円）

- ア 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- イ 会場等の利用支援
会場エリアを横浜銀行アイスアリーナ側まで拡大予定
- ウ 開催日
令和8年10月11日（日）
午前 10 時から午後 3 時 30 分まで
- エ 開催内容
各種団体によるブース出店
（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）
ステージプログラム



【開会式の様子（令和7年度）】



【ブース出店の様子（令和7年度）】



区民活動支援センターは地域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。また、区民が自発的に行う文化・スポーツ・青少年育成等の活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。

(1) 区民活動支援センター事業 2,484千円（2,444千円）

- ア 地域活動に関わる個人・団体等からの相談対応
- イ センター登録者・団体と地域をつなぐ場の提供
- ウ ホームページやSNS、広報よこはま神奈川区版等を活用した情報発信
- エ 区内区民利用施設（36施設）を対象とした地域施設間連携会議の開催（年2回）
- オ かながわ湊フェスタ開催支援（11月）

(2) 文化・読書活動支援事業 1,489千円（1,220千円）

- ア 文化協会支援
文化協会が実施する事業への支援（8事業）
- イ 読書活動推進【拡充】
 - (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（1月）
 - (イ) 布えほんづくりワークショップの開催（7月～8月）
 - (ウ) 神奈川区民の推薦図書キャンペーン（1～3月）

第三次神奈川区読書活動推進目標

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 目標1
未来を担う
子どもたちの
読書活動の推進 | 目標2
あらゆる人が
読書に親しみ
楽しむ機会の充実 | 目標3
読書活動の
拠点の強化と
連携促進 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

(3) スポーツ振興事業 1,380千円（1,110千円）

- ア 区スポーツ協会支援
種目別団体の活動支援
（団体数14、事業数73）
- イ トップスポーツチームとの連携【拡充】
区民デイの開催（年4回）



【区民デイで連携しているトップスポーツチーム】

(4) 生涯学級事業 872千円（872千円）

- ア 生涯学級運営委員会の企画運営による区民向け連続講座（3学級）
- イ 生涯学級運営委員会対象のスキルアップ講座・交流会（年2回）



【令和7年度生涯学級連続講座
「チアアップ〜ひとむすび〜」】

(5) 青少年育成事業 362千円（542千円）

- ア 子ども会育成連絡協議会支援
子ども会育成連絡協議会が実施する事業や研修への支援
- イ B-SKY FES支援
青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント
「B-SKY FES」の開催支援（9月）

22 地域活動支援事業 3,091千円（7年度 3,160千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

(1) 自治会町内会長感謝会 1,493千円（1,347千円）

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（2月）
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（2月）

(2) 自治会町内会活動支援事業 1,598千円（1,813千円）

- ア 自治会町内会配送業務
各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）会長宛の資料や掲出依頼物などを配送
- イ 自治会町内会加入促進事業
 - (ア) 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布、また地区連合の自主イベント等における参加者配布用に提供
 - (イ) 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援

23 動物適正飼育推進事業 209千円（7年度 214千円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

(1) 犬猫の適正飼育啓発事業 154千円（159千円）

- ア 飼い主の知識習得及びマナー向上を目的とした適正飼育方法の啓発
犬のマナープレート等を活用した指導、飼い猫の屋内飼育や不妊去勢手術実施の指導
啓発チラシ：800枚、マナープレート：200枚、啓発用トイレパック：1,000パック
- イ 福祉関連部署との連携による多頭飼育問題への早期発見や不適正飼育の予防
- ウ 災害に備え、しつけなど日頃の準備のための講演会を実施（11月予定）
- エ 広報よこはま神奈川区版等での啓発（3月）

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業 55千円（55千円）

- ア 飼い主のいない猫によるトラブル解決の支援
猫を起因とするトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対して行う超音波式侵入防止器の貸出や地域猫活動としての不妊去勢手術等の支援
- イ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- ウ 広報よこはま神奈川区版等での啓発（1月）

24 地域防災力向上事業

21,824千円（7年度 23,200千円）

☆重点事業

総務課

福祉保健課

高齢・障害支援課

生活衛生課

区民が防災・減災を自らのこととして捉え、震災や風水害に備えて適切な行動がとれるよう、横浜市地震防災戦略も踏まえ自助・共助・公助に係る取組を推進します。

あわせて、地域、医療機関、民間事業者等との連携により、地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災力の強化 16,115千円（16,070千円）

ア 自助の推進

- (ア) SNS等を活用した防災情報の発信
- (イ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等
- (ウ) 防災アドバイザー派遣事業

イ 共助の推進【拡充】

町の防災組織の活性化及び地域防災拠点の運営力の強化を図るため、共助の取組を後押しします。

(ア) 「神奈川区共助推進事業」補助金

町の防災組織への補助メニューを拡充し、自主避難所の開設支援や安否確認アプリの導入を追加

補助メニュー	補助率	補助上限額
資機材購入・防災施設見学等	2/3	15万円または25万円 ※過去3年で補助金を申請したことがある団体は上限15万円
【拡充】自主避難場所開設支援	3/4	25万円
【拡充】安否確認アプリ等導入	10/10	25万円

(イ) 地域防災拠点の機能強化

発災時にスムーズな拠点開設ができるよう、開設時の手順書となる「開設アクションカード」を制作

ウ 次世代につなぐ防災

次世代の担い手育成として、小中学校と連携し、防災出前講座や体験型学習を行い子どもへの教育と同時に子育て世代への啓発を進めます。

(ア) 防災教育による担い手育成

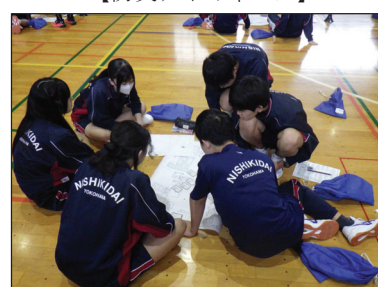
- a 小学生を対象に避難所生活の模擬体験ができる「防災デイキャンプ」を実施（9月）
- b 中学生にはワークショップ型の防災出前授業を実施



【防災情報をXにて発信】



【防災デイキャンプ】



【ワークショップ型出前講座】

(イ) 子育て世代に向けた啓発の取組

a 乳幼児子育て世帯向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配付

b 地域育児教室と連携した防災啓発

区内12か所で実施している地域育児教室を活用し、乳幼児向けの防災備蓄の重要性や在宅避難に向けた自宅の防災対策について啓発を実施

(2) 区役所災害対応力の強化 4,295千円（4,731千円）

ア 職員向け訓練・研修

(ア) 転入職員向け研修（4月）

即応班研修（4月20日・21日）

(イ) 風水害避難場所運営訓練（6月）

(ウ) 地域防災拠点参与等研修（6月）

(エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月）

(オ) 初動対応及び区災害対策本部運営訓練（9月、1月）

(カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資やマニュアルの整備



【区災害対策本部運営訓練】

(3) 災害医療の体制の確立 618千円（401千円）

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

(ア) 神奈川区災害医療連絡会議（9月、12月）

（医療救護隊の効果的な活動のための検討、マニュアルの見直しなど）

(イ) 医療救護隊の活動に必要な物資の整備

イ 災害医療訓練

(ア) 区災害医療訓練（11月）

(イ) 医師会、医療機関との情報受伝達訓練（4回/年）

(ウ) 災害医療のぼり旗掲出訓練（11月）

協力機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会

ウ 普及啓発

(ア) 地域防災拠点訓練での災害医療講話

(イ) 広報よこはま神奈川区版で横浜市災害支援ナース登録勸奨（11月）

(4) 災害時要援護者支援（取組支援）252千円（252千円）

ア 新規協定締結の促進 《令和8年5月末現在 協定締結団体：114団体》

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）

(イ) 名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（9月）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成（世帯数により上限20千円～80千円）

(5) 福祉避難所関連事業 215千円(969千円)

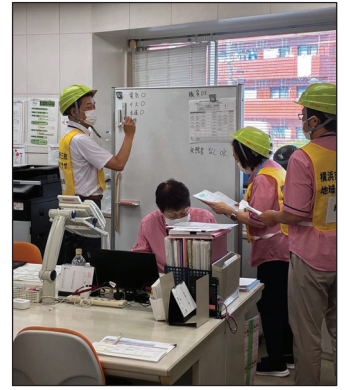
要援護者の二次的避難所である福祉避難所(対象施設:区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザ等)の安定した運営を推進します。

《令和8年5月末現在 福祉避難所 協定締結数:25施設》

ア 福祉避難所開設・運営訓練(11月)

イ 福祉避難所連絡会(2月)

ウ 福祉避難所情報共有システム情報受伝達訓練(2月)



【福祉避難所開設・運営訓練】

(6) 災害時のペット対策 329千円(354千円)

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発

(イ) 「災害時のペット対策ガイドライン ～震災編～」を基に地域防災拠点等における災害時ペット対策推進支援や一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援

(ウ) 地域防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示を実施



【ペット同行避難訓練及び地域防災拠点でのパネル展示】

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

(ア) 広報よこはま神奈川区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等を周知(9月)

(イ) 地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施

(ウ) 日頃からの備えとして、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」及び「神奈川区動物病院マップ」を区役所窓口等で配布



【神奈川区動物病院マップ(R7.10改訂)】

●関連事業

・動物適正飼育推進事業 【P.29参照】

災害に備え、しつけなど日頃の準備のための講演会を実施(11月予定)



25 神奈川区防犯対策事業 3,540千円（7年度 3,801千円）

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進します。

(1) 住みよいまちづくり活動助成事業 2,540千円（2,501千円）

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、21地区連合自治会町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3R推進活動等に対して助成金を交付（7月～9月）

(2) 刑法犯罪被害・特殊詐欺被害防止啓発事業 1,000千円（1,300千円）

ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（通年）

イ 広報よこはま神奈川区版等による防犯啓発

夏休み子ども防犯啓発（7月）、特殊詐欺（1月）、
刑法犯罪（2月）、SNS型詐欺（3月）

ウ 地域での防犯活動に必要な物品

（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与・配布（通年）

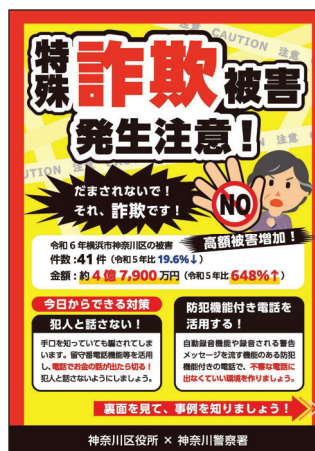
エ 防犯キャンペーン（10月）

オ 自治会町内会等への防犯啓発チラシ・物品配布（通年）

カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発（通年）



【神奈川区地域安全のつどい】



【啓発チラシ】



【防犯啓発のぼり旗】

26 交通安全対策事業 4,834千円（7年度 4,734千円）

地域振興課

土木事務所

神奈川区内における安全な道路交通環境の実現を目指して、地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発・対策を行います。

(1) 交通安全啓発事業 917千円（717千円）

- ア 交通安全教室啓発（4月～6月、11月）
希望する小・中学校等を対象に実施
（実施予定：小学校20校、中学校2校）
- イ 交通安全チラシ及び啓発物品の購入・配布（通年）
- ウ 広報よこはま神奈川区版を活用した啓発
（4、5、7、12月）
- エ 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン（通年）



【スケアードストレイトでの交通安全教室】



【小学校での交通安全教室】

(2) 児童通学路整備事業 3,466千円（3,466千円）

- ア 各小学校で実施している協議会の助成
（交付予定：17団体 各20千円）
スクールゾーン対策協議会（7月～10月）
- イ 通学路内の路面標示の補修（通年）



【通学路 路面標示の補修】

(3) 自転車等放置防止推進協議会助成事業 400千円（400千円）

- 区内主要駅周辺での啓発活動を実施する協議会に対する活動費助成
（4月～6月 交付予定：8団体 各50千円）

(4) 神奈川区交通安全対策協議会事業 51千円（51千円）

- ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（5月）
- イ 交通安全功労者表彰
（表彰 個人：4名・団体：4団体）



【交通安全功労者表彰】

IV 信頼される区役所づくり 10,510千円（7年度13,335千円）

27 かながわデジタル推進事業 3,213千円（7年度 4,344千円）

総務課

神奈川区の窓口におけるデジタル化の推進により、来庁者の利便性向上や混雑緩和を図ります。

(1) 区役所デジタル化推進 3,213千円（4,344千円）

- ア 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるシステムの保守・運用
- イ 来庁者用のWi-Fi運用
- ウ 区政広報用デジタルサイネージの設置等

28 チーム神奈川おもてなし向上事業 7,297千円（7年度 8,991千円）

総務課

横浜市に求められる行政サービスの変化に対し「市民目線」で「スピード感」を持って対応できる人材を育成し、区民サービスの向上を目指します。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めます。

(1) 人材育成等推進事業 565千円（405千円）

- ア 転入責任職、新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修（年3回予定）

(2) 人権啓発事業 600千円（600千円）

- ア 区職員向け研修
 - (ア) 責任職研修（全体：2回、グループ：各3回）
 - (イ) 職員対象研修（年7回程度）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回）

(3) 来庁者の利便性向上 6,020千円（7,986千円）

- ア 庁舎周辺の清掃や、窓口及び待合スペース等の環境改善
- イ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付

(4) 区民顕彰事業 112千円（0千円）

スポーツ、芸術、文化等の分野において、顕著な功績があった方へ栄誉賞を贈ります。

5 自主企画事業以外で実施する主な事業

○こども青少年局予算

① こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員児童委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を親子に勧めています。

② 地域子育て支援拠点事業

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区内には「かなーちえ」「かなーちえサテライト」（NPO法人 親がめが運営）があります。

③ 児童虐待防止啓発地域連携事業

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

④ DV対策事業

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

⑤ 寄り添い型生活支援事業

養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等を対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

⑥ 横浜市認定こども園及び保育所地域子育て支援事業

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

⑦ 保育資源ネットワークの構築

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑧ 妊婦等包括相談支援事業

妊娠期から出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行います。また、出産後はアンケートにより、支援が必要な方に母子保健コーディネーターを中心に電話や訪問等を行います。

⑨ 待機児童・保留児童対策

待機児童ゼロの継続等に向け、既存資源の活用や保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

⑩ 放課後児童サポート事業

放課後キッズクラブや放課後児童クラブ等のスタッフに対して、様々な研修を実施します。

○健康福祉局予算

⑪ 自殺対策事業

自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みます。

⑫ 認知症地域支援推進事業（チームオレンジ）

地域ケアプラザが中心となってコーディネートを行い、認知症の人や家族の希望や願いをもとに地域における取組を進めます。各地域でチームオレンジが増えることにより、認知症の人がさまざまな活動に参画する機会を拡大して、役割と生きがいを持って、安心して自分らしく暮らせる地域づくりにつなげます。

【チームオレンジとは、認知症の人や家族の希望や願い、困りごとなどの声をもとに、その実現や解決に向けた取組を、認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める「本人支援」の活動のことです。】

⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、訪問や相談など地域における見守り活動等につなげます。

【これまで訪問は、名簿に新たに追加された75歳以上のみの（単身・複数）世帯の方を対象としていましたが、令和7年度は、試行的に訪問対象年齢を引き上げ、名簿のうち原則として新たに80歳以上のみの（単身・複数）世帯となった方又は区外から転居されてきた80歳以上のみの（単身・複数）世帯の方に訪問面談を行いました。（名簿は75歳以上のみの世帯の方の情報を掲載）】

○経済局予算

⑭ 商店街活性化イベント助成事業

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

⑮ 安全・安心な商店街づくり事業

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。

○みどり環境局予算

⑯ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配布します。

⑰ 公園整備事業

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和8年度は大口西公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和8年度は、幸ヶ谷公園、滝ノ川公園、入江町公園などで実施を予定しています。

○建築局

⑱ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進

令和6年3月に「第3期横浜市空家等対策計画」の策定をしており、①空家化の予防、②空家等の流通・活用促進、③管理不足空家等の防止・解消の3つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めます。

令和7年度は、自身での管理が困難な所有者向けに、空家の管理代行事業者を募集し、リストにしてホームページ上で公開する制度を開始しました。

令和8年度は、近隣の空家でお困りの方向けの相談受付コールセンターの本格実施などを進めます。

○道路・交通政策局予算

⑲ 道路修繕事業

三枚町（主要地方道横浜生田線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、安全性の確保や交通の円滑化、騒音振動の解消を図ります。

⑳ 道路改良事業、都市計画道路の整備

片倉六角橋線（神大寺地区）については、令和7年度内に全ての用地取得が完了しました。令和8年度は電柱などの占用物の移設や暫定歩道の整備を行い、令和9年度より本体工事に着手し、早期完成を目指します。

また、六角橋線（六角橋地区）については、令和7年10月に、関連する地域にお住まいの皆様を対象とした、事業に関する説明会を開催しました。令和8年度は、道路整備に必要な用地について、地権者の皆様と用地交渉を行うために、用地の測量作業を進めます。

㉑ 横浜市シェアサイクル事業

株式会社ドコモ・バイクシェア及びOpenStreet株式会社と協定を締結し、横浜市シェアサイクル事業を公民連携で実施しています。令和8年度は、令和7年度の取組の効果検証を実施し、その検証結果を踏まえた効果的なサイクルポートの設置を積極的に進め、更なる利便性の向上を図ります。

さらに、区と連携した広報等も行い、利用促進を図ります。

○都市整備局

㉒ 東高島駅北地区開発事業

平成30年度に土地区画整理組合が設立認可され、埋立工事を含めた区画整理工事を進めてきています。

令和7年度は、新設橋梁の架設、鉄道施設の撤去・移設、地区外の踏切拡幅などを進めてきました。

令和8年度は、地区内の道路整備や隣接する踏切の拡幅工事など引き続き基盤整備を進めていきます。

㉓ まちの不燃化推進事業

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い地域において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部補助などを行っています。また、六角橋商店街地区や六角橋北町地区等における協働による防災まちづくり活動の支援を継続するとともに、地域と協働でつくる防災型公園の整備（六角橋六丁目公園）を進めます。

○教育委員会

②④ 青木小学校の不足教室対策

青木小学校は、通学区域内におけるマンション開発の影響で児童が増加しており、教室不足が生じる見込みとなりました。そこで「青木小学校」学校規模適正化等検討部会を設置し、具体的な対応策の検討を行いました。

検討の結果、通学区域を変更することが望ましいとの方向性が示され、検討部会としての「意見書」が取りまとめられました。その後、教育委員会で審議を行った結果、意見書記載の事項については、原案どおり承認されました。

今後、通学区域に係る規則の改正に向けて、教育委員会事務局で事務手続を進める予定であり、令和8年8月の改正を見込んでいます。

○下水道河川局

②⑤ 下水道管きょ維持管理事業

災害時に必要な物資等を輸送するための緊急輸送路などに敷設された下水道管の耐震化を進めています。令和8年度は国道1号などで耐震化を予定しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。

令和8年度は松本町から反町、神奈川から栄町、入江町から神之木町、鶴屋町周辺などで工事を実施します。

②⑥ 横浜駅周辺地区における下水道整備

市内で最も都市機能が発達し集積している横浜駅周辺地区（エキサイトよこはま22）では、目標整備水準を時間降雨量約82mm（30年に1回の降雨）に引き上げ、下水道施設の整備を進めます。

引き続き、令和8年度は神奈川公園等でエキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を進めます。また、鶴屋町周辺で枝線の能力を増強する工事及び、金港町、栄町周辺で試掘工事及び、集めた雨水を海域へ放流するため、東高島駅北地区土地区画整理事業地内で新たに東高島ポンプ場の整備を進めます。

